

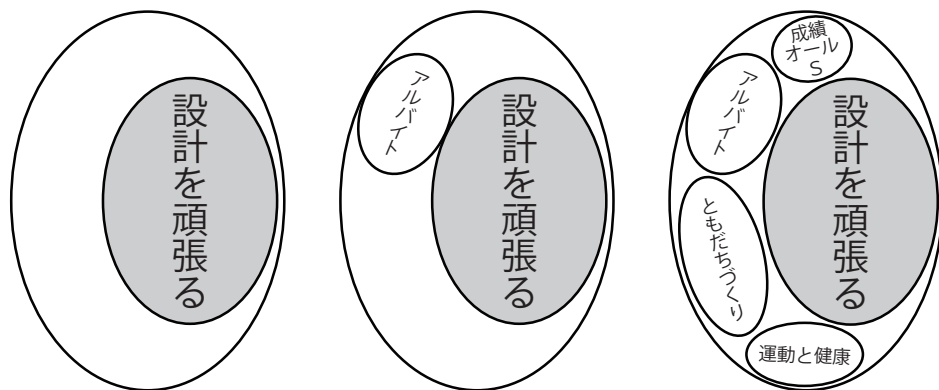
入門 WS 2-5 《全体性とディテール》 WS メニュー

建築を設計するときには、建物全体のイメージと、窓・柱・階段などの細かな部分（ディテール）の両方を行ったり来たりしながら考えることが大切です。全体だけを考えても、中身の作り方がいい加減だとスカスカな建物になってしまうし、逆に部分だけをバラバラに頑張っても、足し算だけではまとまりのある建物にはなりません。例えば金沢21世紀美術館では、「まちに開かれた公園のような美術館」という全体の考え方のもとに、大きな円形の中にいろいろな形の展示室のブロックが置かれています。来館者は円形という全体を感じながら、ブロックごとの空間も楽しむことができます。このように、全体とディテールがバランスよく響き合っている建築ほど、生き生きとして質の高い建物になるのです。

そこで、これから建築を学ぶあなたにとって、「この一年間の目標」を卵の中に大きさに注意しながら描いてください。卵（全体）の中をいくつかの目標（ディテール）で埋めてください。目標は達成した度合いごとに大きさに差をつけながら描いてください。細かい目標まで書くことで、卵の中をいっぱい埋めていきましょう。

たまご型の内側に目標を描いてみよう！

描き方のサンプル



※「全体性のたまご」とは、はじめに全体をイメージし、そこから最も重要な中心を捉え、分化させていくことで活動のデザインをしていくというデザイン技法です。

たまご型の内側に目標を描いてみよう！

